

(様式2) 【発表要旨】

＜発表者＞ 指導区名：北薩指導区 氏名：岡崎 博樹

1 発表テーマ

北薩地域における未来の森林づくり推進プランの取組

2 テーマの趣旨・目的 ＜取組課題選定の背景含む＞

未来の森林づくり推進プランは、県の森林・林業振興基本計画の「基本理念の実現」と「目標の達成」を目的とした5カ年間の実施計画です。

「木材生産の推進」や「再造林の推進」、「間伐の推進」などの項目について、地域ごとに目標値を設定し、さまざまな取り組みを展開しています。

現在、推進プランは前期計画を終了し、後期計画の折り返し地点にあります。これを機に、プランの現状及びこれまでの取り組みを再確認し、目的達成に向けた取組みをさらに加速させる必要があります。

3 現状及びこれまでの取組の成果・課題

① 現状

北薩未来の森林づくり推進プラン現状

項 目		前期計画					後期計画 (R6～R10)	
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (暫定地)
木材生産量	目標	244,186m ³	249,166m ³	255,043m ³	261,817m ³	268,609m ³	190,647m ³	192,808m ³
	実績	205,010m ³	181,043m ³	210,729m ³	195,367m ³	191,611m ³	184,010m ³	集計中
	達成率	84%	73%	83%	75%	71%	97%	
再造林面積	目標	100ha	163ha	168ha	176ha	182ha	138ha	139ha
	実績	68ha	62ha	86ha	106ha	124ha	143ha	141ha
	達成率	68%	38%	51%	60%	68%	104%	102%
間伐面積	目標	460ha	460ha	460ha	460ha	460ha	440ha	440ha
	実績	659ha	825ha	660ha	482ha	414ha	428ha	373ha
	達成率	143%	179%	144%	105%	90%	97%	85%

② 成果

- ・意識の醸成：車両広告や折り込みチラシ、SNSなどの多様な媒体を活用した情報発信により、森林所有者等に対する再造林や山林活用の意識向上に努めた。
- ・林地の集積・集約化：森林経営プランナーを養成するとともに、森林経営管理制度推進検討会や集約化構想制度の地域実証事業に参加し、地域の集積・集約化の目指すべき方向性や考え方の浸透と定着を図った。
- ・労働生産性の向上：ICT活用等の技術研修を開催し、労働生産性の向上に寄与した。
- ・苗木の安定供給体制の構築：苗木需給情報交換会や生産技術研修会を通じて、苗木の安

定供給体制づくりと苗木生産技術の向上に寄与した。

- ・新たな労働力の確保・育成：林福連携の取り組みにより、新たな労働力の確保及び育成を図った。

③ 課題

- ・森林所有者や林業事業体の再造林意識が低く、管理が不十分な森林が増加。
- ・技術者育成と生産効率の向上及びコスト削減が必要。
- ・苗木の安定供給体制の整備が必要。
- ・林業就業者減少により労働力不足。

4 今後取り組むべき内容

① 具体的手法又は検討方向

ア 再造林推進と山林活用の意識向上

- ・車両広告や折り込みチラシ、SNSなど多様な媒体を活用した情報発信の継続強化。
- ・キャッチフレーズやメッセージ内容の定期的な見直しによるターゲット層への訴求力向上。

イ 効率的な林地の集積・集約化

- ・林業事業体の意見聴取を踏まえた意向調査対象地の絞り込み。
- ・新たな制度や技術の活用による林地の集約化の促進。

ウ 実践的な研修の充実

- ・現場で即活用可能な技能研修や機器操作研修の拡充。
- ・最新技術や効率的作業手法の導入と周知強化。

エ 苗木の安定供給体制を整備

- ・地域特徴を踏まえた苗木生産体制の構築。
- ・需給情報の適時共有と生産技術の継続的向上。

オ 林福連携の取り組みのステップアップ

- ・障害者等多様な就労者の受け入れ拡大と作業環境整備。
- ・支援終了後も自走可能な持続体制の構築検討。

② 理由

県の森林・林業振興基本計画の「基本理念の実現」と「目標達成」を図るため

③ 期待する成果

北薩地域未来の森林づくり推進プランの目標達成。

後期計画の目標（R10）	
木材生産量	199,513m ³
再造林面積	140ha
間伐面積	440ha



北薩地域振興局農林水産部
公式Instagramアカウント